

## 日中青年ピクニック IN 猿島

日時 平成 27 年 6 月 28 日 (日) 午前 9 時 30 分～15 時 30 分  
場所 横須賀市猿島 (JR 横須賀駅)  
主催 神奈川県日本中国友好協会青年学生部会チャイ華  
参加者数 20 人 (日本 6 名 中国 14 名) チャイ華 5 名

\*\*\*参加者の蔣さんの感想\*\*\*

今回、横須賀にある「猿島」という東京湾唯一の無人島を、初めて訪れたのだが、大感動してしまった。島の入り口に入った途端、樹木が鬱蒼と茂り、まるで緑に囲まれているようだった。空気が澄んでいて、気持ちよかった。「この島は何て美しい環境なんだ」と、言葉が口から出た。島の中を進んでいくと、だんだん要塞っぽい雰囲気が出て来て、岩肌を掘込んだり、煉瓦を積んだりして作られた砲台、そして弾薬庫の建物やトンネルなどがあった。

一緒に参加した日本の方に聞いたところ、それらは全て明治時代に作られた建物だった。それらがそのままの姿で残され、珍しかったと思うと同時に、要塞の跡からも歴史を深く感じてしまっ



た。島の奥の広場階段を降りきったところに、コスプレしている人を見かけたので、美しい環境と珍しい歴史遺跡の中に、現代のハイレベルなデジカメ技術を駆使して、永久的な記念写真を撮った。とても楽しかった。台場階段を降りると、海を望める岩場が目の前に表れ、そこには釣り人も大勢いた。海は思ったよりも透明度が高くて、海底には小さな魚や蟹もいた。海の水がすごく綺麗だった。

普段仕事に多忙な人々には、気分転換の最高の場所かもしれない。環境保護にも工夫をしていた。猿島の全体の広さは約 5.1ha (横浜スタジアムの約 4 倍) で、船から降りたところにある建物にしか、トイレとゴミ箱を設置しなかった。1 時間程を掛け猿島を 1 周したが、捨ててあるゴミは一つも見られなかった。ひとりひとりの人間が、環境を優しく大事にすることを自覚していた。

帰りのフェリーに乗ると、色々な事を考え始めてしまった。母国の中国は自然と伝統文化に恵まれたが、現在は単なる急速な経済発展を追求するあまり、食品安全問題や環境汚染問題など、ますます悪化しているのが現実である。いつかは中国に戻り、猿島のような、歴史と自然を残し、

現代のハイレベルな科学技術を取り入れ、人々を癒せる、気分転換に最高の場所を作る取り組みをしたいと、心に決めた。

楽しい一日だった。次回も楽しみにしている。

